

平成29年度 事業実施概要

社会福祉法人 沖縄コロニー

平成29年度は、社会福祉法人法の改正に伴い新評議員及び新理事が選任され、新しい組織体制の下で、既存事業の改善・効率化を主眼として事業を実施した。また、一連の施設整備（建替え）事業が終了し、法人のハード面における新体制も整った。

決算状況は、施設整備に関する特別な支出を除き順調であった。法人全体では、職員の給与アップを実施しながらもサービス活動増減差額が235,605千円に達し、これからコロニーワークショップ沖縄の建替えに伴う処分損等（約84,000千円）を控除しても、当期活動増減差額として167,179千円の黒字（前年対比約1億円のプラス）を達成した。とりわけ障害福祉サービス等事業収益においては、夜勤職員配置体制加算の取得や児童デイ利用児童の増加によって97,988千円の収入増となり、人員配置の効率化と相まって堅調な決算を支えた。

1 職員処遇の向上

年度初めに、法人全体で5千万円以上の昇給を実施した。あわせて、ユニットリーダー手当、児童発達支援管理責任者手当等の各種手当を拡充した。また、フルタイム契約職員へ扶養手当を支給する準備を整えた。

2 事業展開

児童デイサービスにおいて、10月に新規1事業所を開設した。他方で、基本単価の引き下げを伴う平成30年の報酬改定を見据えて、選択と集中の観点から、3月限りで3事業所を閉鎖し、安定したサービス提供環境を維持した。

3 法人人材育成及び確保

各セクションにおいて、現場のニーズに応じた各種研修を実施した。また、求人時における賃金単価を増額して、介護職及び専門職の確保に努めた。児童デイサービスにおいては、言語聴覚士3名を新規採用した。

4 業務改革及び改善

放課後等デイサービスの就業時間の効率化を実施、年間の就業時間は同じだが平日は6時間勤務となるシフトの見直しを行った。無期転換職員制度への対応や育児・介護休業制度改正への対応等、職員の働きやすさに資する各種規程の改正を実施した。

5 医療・介護の連携強化

看護職員の安定化は概ね実現できた。看護職と介護職との役割分担について、連携強化の観点から議論を深め、次年度における連携体制の準備をした。

6 施設整備事業

特別養護老人ホームありあけの里の建替工事が、平成30年3月末に無事竣工した。ユニット型への転換等の移行に伴う課題に対応するため、第二ありあけの里と連携して検討し、混乱が生じないよう準備を整えた。